

次世代IPネットワーク推進フォーラム IP端末部会会合(第2回) 議事録(案)

日時:平成20年3月13日(木) 16:00~17:15

場所:情報オアシス神田 オアシス7

出席者

IP 端末部会長 相田仁(東京大学大学院)
開発推進 WG リーダ 村上仁己(成蹊大学)
責任分担モデル WG リーダ 平野晋(中央大学)、
他 23 名

総務省

電気通信技術システム課 竹内課長、菱沼企画官、長屋係長
データ通信課 柳島企画官
通信規格課 沼田補佐

事務局

情報通信研究機構 伊藤グループリーダー他

配付資料

- 資料 1 IP 端末部会開発 WG 中間報告書概要
- 資料 2 責任分担モデル WG の活動報告
- 資料 3 IP 端末部会 総会報告(案)
- 資料 4 IP 端末部会の英語名称について
- 資料 5 総務省における検討状況
- 参考資料 1 IP 端末部会会合(第1回) 議事録
- 参考資料 2 IP 端末部会設置要綱
- 参考資料 3 IP 端末部会構成員名簿
- 参考資料 4 第2回定期総会及び定期総会イベントの開催

議事内容:

1. 開会(事務局)

2. 総務省挨拶(竹内課長)

本部会では、IP ネットワークにつながる端末についての課題および解決策について検討いただいている。特に新サービスを提供する端末について、事前に相互接続性をどう確認し、それをどう標準化にフィードバックしていくかという議論をいただいた。また、問題発生時のスムーズな問題解決については、事業者の契約約款や端末の

取り扱い説明書、ISPの利用規約などの基本的考え方のコンセンサスをつくるための検討が行われた。こういった点については、10月に改訂した「新競争促進プログラム2010」の中でも今年夏までに結論を出すことになっており、本部会での議論の内容を反映していきたい。また、それに伴う制度改正については総務省で対応していきたい。

今月のNTT東西によるNGNのサービス開始にあたり、新しい部会「利活用促進部会」の設置について幹事会で審議中である。IPネットワークによるサービスは急速に動いている分野であるので、様々な問題について建設的な議論を期待している。

3. 配布資料確認

事務局より、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

(1) 開発推進WGの活動報告及び今後の活動計画について

資料1に基づき、開発推進WG村上リーダーより説明。

質疑応答:

相田部会長:4月以降は主にIPポータビリティについて検討されるということであるが、テストベッドについての具体的検討計画はどのようになっているか。

村上WGリーダー:これまではコンセプトの検討が中心であったが、今後はテストベッドの具体像、スペック作りに関する検討を行っていきたい。ベンダー、キャリア、新規参入企業からの意見を頂きたいと考えている。

(2) 責任分担モデルWGの活動報告及び今後の活動計画について

資料2に基づき、責任分担モデルWG平野リーダーより説明。

質疑応答:

相田部会長:標準機器構成(資料9ページ)はスタート時点のものと考えてよいか。これより複雑になっていくことも大いにあり得るのではないか。

平野WGリーダー:基本を2つに分けているが、今後は複雑になっていく可能性はある。

相田部会長:ユーザの位置情報に応じてコンテンツ、サービス提供者が複数になる形態があるのではないか。

平野WGリーダー:位置情報を利用した、ユーザ参加型(Web2.0)の事例も出てきている。ユーザ自身がコンテンツ発信をすることも出てくると考えている。

ただ基本となる構成は押さえておく必要がある。

- (3) 第2回定期総会報告(案)について
資料3に基づき、相田部会長より説明。

決定事項:

第2回定期総会報告(案)について承認された。

- (4) IP 端末部会の英語名称について
資料4に基づき、事務局より説明。

決定事項:

IP 端末部会の英語名称について承認された。

- (5) その他
総務省における検討状況について
資料5に基づき、総務省より説明

質疑応答:

相田部会長: WG での結論はいつまでに出す必要があるか。

総務省: 今後は関係者にヒアリングを行い広く情報を収集する予定である。

村上 WG リーダ: 日中韓のテストベッドの接続と本部会との関係について情報は
あるか。

竹内課長: 実装規約やスキームを日中韓国のキャリアおよび標準化団体で検
討し、その結果が ITU-T で検討される。

村上 WG リーダ: 本部会の活動への要求はないと考えてよいか。

竹内課長: フォーラムの研究開発・標準化部会での検討課題である。

次回の予定について

事務局より説明

来年3月を目処に開催を予定している。具体的な日程については、各WGでの検
討状況を踏まえ、後日連絡する。

第2回定期総会について

参考資料4に基づき、事務局より説明

5 . 閉会 (相田部会長)

以上